

2020九州南部豪雨(熊本県)

TMAT 災害医療活動報告

2020年7月10日 23:00

第6報

6:00 多良木高校へ出発。

7:00 頃 当麻医師は会議にて保健所へ出発。

7:20 多良木高校到着。朝食の際に検温を実施してから食事を配布。
合田医師、伊藤看護師、上國料看護師は巡回を実施

8:00 避難所内でラジオ体操を実施

8:30 ごみ箱回収の指導実施。当麻医師は医療調整本部ミーティングに参加。

10:30 県庁、支援者団体(佐賀&長崎 DHEAT、徳島 DMAT、唐津日赤、長崎&熊本県庁、熊本県各自治体)とミーティング。施設内の問題点や不足物品について確認する。合田医師は DHEAT と共に組織支援団体の調整を支援。

当麻医師は医療支援チームと引き継ぎを行う。

橋本薬剤師は4件の薬剤相談応受。伊藤看護師、上國料看護師
武智調整員は第2体育館の区画整理、案内板の設置。

12:00 頃 昼食時も同様に、県職員と共に検温し配布。

午後 伊藤看護師は患者スクリーニングを実施した結果、福祉の判断が必要となったため地域包括支援センターを通じ移送。その際橋本薬剤師は薬剤鑑別し、薬剤情報を提供する。

合田医師は多目的トイレ、簡易トイレの設置場所検討、設置。

また、孤立集落からの避難者15名を受け入れる。

15:00 ラジオ体操。県職員とのミーティングを実施。

15 : 45 當麻医師は人吉保健所での会議にて出発。

合田医師は 6 名診察し、内 1 名は継続して処置が必要。

伊藤看護師は巡回し、物資管理の相談。上國料看護師と武智調整員は避難者からの相談があり、2 歳児の転倒予防対策実施。橋本薬剤師は避難者より薬剤相談 5 件あり、内 1 件は診察を依頼する。

16 : 00 合田医師は洗濯機の選別、設置場所の選定を行った。体育館の避難者用のパーテーション選定。

武智調整員は簡易トイレの設置の調整をする。

18 : 30 頃 伊藤看護師、橋本薬剤師は女性更衣室の備品の選定を実施。

19 : 00 當麻医師が保健所でのミーティングを終え多良木高校到着。

少数だが避難者を受け入れる。現在総数 165 名となった。

20 : 30 夜間の医療ニーズなく宿直はせず第 1 陣揃って宿舎へ向けて出発する。

22 : 00 宿舎へ到着。明日は 6 時に宿舎出発予定とし、本日の活動を終了とした。

なお、本日追加第 2 陣の派遣メンバーが決定しました。

佐藤 哲也 看護師（湘南藤沢徳洲会病院）

古森 喬 看護師（福岡徳洲会病院）

小坂 耕平 看護師（和泉市立総合医療センター）※初派遣

鶴澤 佑 救急救命士（湘南藤沢徳洲会病院）

第 2 陣は 7 月 11 日に移動を行い、熊本駅周辺で一泊。12 日早朝に移動を開始し第 1 陣と合流する予定。

また、明日 7 月 11 日（土）は篠崎 TMAT 副理事長が現地視察に入られる予定。14 時頃に人吉保健所で剣所長に挨拶をしたのち、多良木高校避難所を訪問。送迎対応は東京本部の海老澤健太事務員が対応します。（新潟中越地震や東日本大震災の TMAT 活動でコーディネーターとして活動経験あり）明日の対応以降も第 2 陣と共に活動する予定。



避難所内に番地を設定



野口 幸洋 (NPO 法人 T MAT / 一般社団法人徳洲会東京本部)

阪木 志帆 (NPO 法人 T MAT / 一般社団法人徳洲会東京本部)

文責 事務局 野口 幸洋